



4月18日(火)に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が、文部科学省から届きましたので概要をお知らせします。

## 1 教科の概要・国語・算数

|      | 平均正答率(%) |      | 平均正答数(正答数/問題数) |         |
|------|----------|------|----------------|---------|
|      | 国語       | 算数   | 国語             | 算数      |
| 東郷小  | 61       | 66   | 8.6/14         | 9.2/14  |
| 鳥取県  | 63       | 66   | 8.9/14         | 9.2/14  |
| 全 国  | 63.8     | 66.6 | 8.9/14         | 9.3/14  |
| 県との差 | ▼2       | 0    | ▼0.3/14        | 0       |
| 国との差 | ▼2.8     | ▼0.6 | ▼0.3/14        | ▼0.1/14 |

### 全国平均との比較

平均正答率では、2教科とも「同程度」という結果でした。平均正答数では、全国と比較して国語が-0.3、算数が-0.1という結果でした。

※全国平均正答率に比べ、±3%未満を同程度、±3%以上8%未満をやや高い(やや低い)、±8%以上を高い(低い)と表現しています。

### 東郷小6年生の学力検査の傾向

算数が国や県と比べてほとんど変わらなかったのに対して、国語が若干低い結果となりました。

東郷小6年生の各問題の回答を見てみると、全体的に正答率が低かったのではなく、国・県に比べて高い正答率の問題も多く見られましたが、次の問題の正答率が低い結果となりました。

- 【国語】 ●漢字 ・「友だちにかぎらず」(53.5/69.4) ← (東郷小正答率/全国正答率)  
・「かんしんをもってもらいたい」(9.3/35.6)  
●説明文 昼職人にインタビューをする様子の説明文4問中3問の正答率が低かった。  
その3問とも4択問題であった。
- 【算数】 ●面積や体積などの「量と測定」の問題や記述式の問題の正答率が低い傾向が見られた。

## 2 児童質問紙調査概要・学校や家での勉強や生活の様子

### ○肯定的な回答が、全国の平均を5ポイント以上、上回った質問

「人が困っているときは、進んで助けている」 「地域の行事に参加している」 「授業でICTを活用している」 「道徳の授業で、自分の考えを深めている」 「学級生活をよくするために学級会で話し合い、解決方法を決めている」

### ▼肯定的な回答が、全国の平均を5ポイント以上、下回った質問

「将来の夢や目標をもっている」 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」 「読書は好きである」 「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」 「自分の考えがうまく伝わるよう工夫している」 「国語の授業で、うまく伝わるように話や文章の組み立てを工夫している」 「国語の授業で、目的に応じて文章や段落どうしの関係を考えながら読んでいる」 「算数で学習したことを、普段の生活で活用できないか考えている」 「算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思う」

### 東郷小6年生の質問紙検査の傾向

結果を見ると、夢や目標、読書、活用力・表現力が課題であるように思われます。キャリア教育や読書指導等の推進とあわせ、日々の学校生活や学校行事をとおして意欲を高め、自尊感情を育てるよう、ご家庭と連携しながら取り組んでいきたいと思います。